

令和8年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
	学長	齋藤 平	学長・教授	日本語学・社会言語学	①三重県方言の研究 ②地震津波記念碑の社会言語学的研究
	文学研究科	河野 訓	特別教授	宗教学・仏教学	(1)漢訳仏典と儒仏道三教交渉史の研究 (2)20世紀中期以降の中国仏教寺院の変貌の研究 (3)宗教都市伊勢における神仏分離と全国の神仏分離との比較研究 (4)世界の諸宗教に関する研究
		新田 均	特別教授	近代日本の政教関係	近代日本の政教関係の実像を明らかにする。
	神道学科	板井 正斉	教授	宗教社会学、宗教民俗学、神道福祉論、GIS研究	地域神社に関する基礎的研究 ①神社周辺人口の地理空間(GIS)分析 ②祭礼行事の継承状況の分析 ③神社を地域資源とした福祉・防災活動の事例分析 ④原田敏明每文舎文庫を活用した分析
		中山 郁	教授	宗教学、修験道研究、戦争慰霊研究	①禪道・民俗宗教における「行法」の研究 ②海外戦没者慰霊の研究
		橋本 雅之	特別教授	国文学・日本文化論	①日本神話の文化風土論的研究 ②江戸時代後期の古風土記受容についての研究 ③日本文化の深層心理学的研究
		松本 丘	教授	神道史・神道思想史	1、垂加神道を中心とする江戸時代神道史の研究 2、崎門における神道・儒学思想の研究
		高野 裕基	准教授	近現代神道史 宗教行政史	1. 「国家神道」および「国家神道論」における教育勅語の位置づけに関する研究 2. 梅田義彦の神道論に関する研究 3. 欧米における近現代神道史研究の現状と課題に関する研究
		田井 健治	助教	神道祭祀・神社祭式・有職故実	・神社祭式行事作法における現代的意義の考究 ・吉田兼俱の儀礼理解の研究
		新田 恵三	助教	神道史・神道儀礼・神道行法	諸神道説の儀礼と思想
	国文学科	大島 信生	特別教授	上代国語国文学	1、万葉集の訓詁注釈的研究 2、古事記・日本書紀の研究
		上小倉 一志	特命教授	書道	・隸書から楷書への過渡期の文字変遷とその表現法に関する研究(継続中) ・楚の文字を中心とする篆書体の変遷過程の研究 ・魏の時代を代表する三碑(上尊号碑・受禅表・孔羨碑)の筆法に関する研究(継続中) ・韓天寿『岡寺版集帖』に関する調査・研究(継続中) ・硯と墨色の研究(継続中)
		木村 尚志	教授	中世文学、和歌文学	『後鳥羽院御口伝』の注釈と研究
		田中 康二	教授	日本近世文学・国学	江戸時代中期に発祥した「国学」について、古代・中世にルーツを持つ「歌学」からの連続性と断絶という観点と、近代以降現代に及ぶ国文学研究、さらには古典教育への断続性という観点の二つの視座から、国学者の残した業績を見直す作業を行う。また、それらを通時的に貫通する「日本古典学」を構想することを目標とする。
		松下 道信	教授	中国宗教思想	・道教(北宋～元までの全真教・内丹道について) ・神道と中国思想、特に道教思想とのかかわりについて

令和8年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
文学部		岡野 裕行	教授	文学散歩, 読書会, ビブリオバトル, 書物文化	①文学散歩の研究 ②図書館における集会活動・読書会の研究 ③ビブリオバトルの研究
		千邑 淳子	特命准教授	公共図書館と地域、マイクロライブラリー	①図書館の企画展示 ②公共図書館における地域との連携と地域活性化 ③ マイクロライブラリーの可能性
		平石 岳	准教授	日本近代文学	①徳富蘆花作品のメディアミックスにおける軍人表象の史的変遷 ②演劇文化と演劇表現史の研究 ③文学賞と文学史の研究
	国史学科	遠藤 慶太	教授	日本古代史	近年、古代の行政区域であるコホリ(評・郡)の実像を明らかにする研究が進展している。出土文字史料(木簡など)の活用や日中比較の観点から成果が出されており、これらの研究成果に学びながら、『日本書紀』『萬葉集』といった古典文献の内容を再検討し、古典読解の新たな視点を探求してゆきたい。
		岡野 友彦	教授	日本中世史	①中世公家社会と公家領荘園に関する研究 ②北畠親房と伊勢国司北畠氏に関する研究 ③中世の伊勢神宮と神道・神社に関する研究 ④源氏長者・徳川家康に関する研究 ⑤古文書の料紙に関する研究
		多田 寛道	教授	日本中世史	神宮と仏教の関係についての研究
		谷口 裕信	教授	日本近代史・地方行政史	①近現代日本における郡の地域的結合について ②近代における伊勢参宮とそれに関わる人々
		服部 直美	特命教授	教育学(教職論)	若手教員が健全に勤務していくために必要な視点についての考察
		堀内 淳一	教授	東アジア古代外交史・コンテンツ文化史	(1)古代から中世にかけての東アジアの人の交流 (2)分裂期の中国における封建範囲と国家の領域 (3)近代日本における中国の「偉人」と伝記・立志伝
		松浦 光修	特別教授	日本思想史	幕末思想史の研究
		谷戸 佑紀	准教授	日本近世史	①近世国家における伊勢神宮の位置づけに関する研究 ②近世の武家政権の成立過程に関する研究 ③近世社会の統治システムに関する研究
		長谷川 怜	准教授	日本近現代史	以下、①～⑤のテーマを同時並行で進めていく。①近代日本と満洲経営、②満蒙開拓団と宗教、③満洲のビジュアルメディア、④旧華族家の生活史、⑤近代日本の音源
		張 磊	教授	人工知能、日本語教育	1. 生成 AI を活用した大学教育における学習成果と公平性の評価フレームワーク 2. 漢字文化圏学習者向けの日本語習得支援における AI 対話エージェントと認知負荷の最適化モデル
		豊住 誠	教授	英語教育学	英語教育の理論および実践にかかわる研究
		芳賀 康朗	教授	心理学	心性知覚(mind perception)に関する心理学的研究

令和8年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
	コミュニケーション学科	栗野 理恵子	准教授	感性の育成 音楽心理学 フォーカシング 受容的音楽療法	感性の育成に関する文献研究(研究1) 「感性の育成に貢献する活動」に関する心理学的観点からの探索的研究(研究2) 受容的音楽療法の研究動向に関する概観(研究3)
		高沢 佳司	准教授	心理学	(1)非永続性焦点に特化したフォーカシング技法による定量的研究および事例研究 (2)構造拘束度尺度改訂版の短縮版およびその英訳版の作成
		玉田 貴裕	准教授	英語学	英語史における使役移動構文の発達
		チェロ ディチェロ	准教授	第二言語習得、異文化コミュニケーション	動機付けと英語学習[PREFERENCES AND PERCEIVED HELPFULNESS OF ACTIVITIES IN UNIVERSITY ENGLISH CLASSES]
		中山 真	准教授	心理学(臨床心理学・社会心理学)	Gritが日常的な対人ストレスによる成長感に与える影響
		大杉 成喜	教授	特別支援教育・教育学	・障害のある児童生徒の教材開発・実践研究 ・児童生徒のプログラミング教育に関する研究 ・インクルーシブスポーツ推進にかかる研究 ・三重県の地域の課題に応じた特別支援教育にかかる実践研究
		加藤 純一	教授	体育・保健体育科教育法、武道思想史	○生成AIを用いた学習指導案の作成並びに教材開発(継続) ○器械運動の教材開発について(継続) ○VTRを用いた模擬授業の省察(継続) ○渋沢栄一と武道(新規)
		駒田 聡子	教授	食育 家庭科教育 小児保健	1. 実践的力を身につける家庭科教育の在り方の検討 2. 保育施設におけるスキルアップ研修の課題把握 3. 防災食も含めた、地域食材活用視点の研究
		勢力 稔	特命教授	教育学、教科教育学、教師教育学	「教員の授業改善(ICT活用含)を目指した研究」 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指した、授業方法 (ICT活用・評価手法・理科観察実験開発)の開発に関する研究
		中條 敦仁	教授	国語教育学 キャリア教育学	国語教育:『論点整理』をもとにした国語教育における「思考力」の育成 言語教育:生成AIプロンプトを書くための論理的文章の研究 生活絵本群の言語分析に関する研究(昨年度の継続)
		中松 豊	教授	応用昆虫学 理科教育学 生活科教育学	・寄生蜂を使った昆虫の生体防御機構の解明 ・保育園から高等学校理科の生物分野における昆虫を使った観察・実験教材の開発
		濱谷 義弘	特命教授	大域的解析学	関数差分方程式と関数微分方程式の解の定性的研究
		村瀬 雅俊	特命教授	理論教育学	教育原理の探究と理論構築、実践展開
		吉田 直樹	教授	発達心理学・環境心理学・臨床心理学	教育・保育施設における心理相談支援の物理的環境整備
		渡邊 賢二	特命教授	教育心理学、家族心理学	児童期から青年期の親子関係、親子間葛藤、子育て支援 小中学生と教師の支援

令和8年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
教育学部	教育学科	市田 敏之	准教授	教育行政学	米国における初等中等教育段階の科学技術人材育成に関する研究
		井上 兼一	准教授	教育史学	(1)昭和戦前期における学制改革の再検討 (2)占領期の三重県における教育委員会の施策に関する研究
		上野 祐一	准教授	複素領域における微分方程式・特殊函数論、算数・数学教育学	【解析学】高階パウルヴェ系の中で特にFuji-Suzuki-Tsuda系, Sasano系の高野理論の構築と正則性によるその量子化について 【算数・数学教育学】高大接続、中大接続の数学の在り方についての系統的な考察と実践方法について
		小川 真由子	准教授	小児保健、学校保健	①養護教諭の救急処置における思考過程の分析 ②祖父母の育児参加を支える教育的支援プログラムの開発と評価 ③生命(いのち)の安全教育とライフスキル教育を融合した教育モデルの検討 ④0～2歳児の食物アレルギー予防プログラムの実装評価
		片山 靖富	准教授	応用健康科学	課題① 身体活動の増加ならびに運動の習慣化を促す研究(運動プログラムの開発) 課題② 大学生体力と学力との関係/大学体育授業の教育効果 課題③ スポーツの習い事をはじめたきっかけとその後の運動習慣・スポーツに対する価値観との関係
		川村 一代	准教授	外国語教育	①ペア型テストによる初級英語学習者の「話すこと(やり取り)」の評価の可能性 ②CEFR A1未満の学習者の「話すこと(やり取り)」における「対話能力」と「言語能力」の評価:「面接型」テストと「ペア型」テストの比較 ③日本国内の小学校英語教育に関する2018年から2026年の論文の系統的レビュー(小学校英語教育学会課題研究採用プロジェクト)
		佐藤 武尊	准教授	自然科学(柔道)	(1)国際柔道選手競技分析研究 (2)柔道選手における糖尿病に関する研究 (3)柔道における礼法に関する研究 (4)柔道高段者大会における競技分析的研究
		澤 友美	准教授	理科教育 生物教育 昆虫生理学 免疫学	・昆虫培養細胞を用いた食作用およびメラニン化反応の安定的な実験系を確立し、継代培養条件・反応条件・観察手法の標準化を行う。 ・教職課程における理科授業設計力向上を目的として、実験教材を活用した模擬授業の実践と評価方法(ルーブリック)の構築を行う。 ・附属図書館と連携し、小学校理科教育における児童書の活用方法を探究し、読書活動と理科授業の接続可能性を検討する。
		高橋 摩衣子	准教授	音楽教育	●学校音楽教育/幼児音楽教育の現状および時代に即した教員/保育者養成に関する研究。 ●教員・保育者養成課程における学生ミュージカル創作実践。
		野々垣 明子	准教授	教育哲学 社会教育史 教員養成教育	①占領期CI&E教育映画における学校像の解明 ②教育の基礎理論の授業における学習内容の研究
		萩原 浩司	准教授	社会科教育学・エネルギー環境教育・生活科教育学	・生活科教育における柳田国男研究の史的展開 ・エネルギー環境教育における柳田社会科の再評価
		松村 かをる	特命准教授	幼児教育	保育士養成校における 事前事後指導の指導内容の充実を図る。
		山本 智子	准教授	障害児教育学(指導法)・教育カウンセリング(発達支援)	・特別支援学校における授業改善 ・障害のある幼児児童生徒の発達支援
		吉田 明弘	准教授	児童福祉・保育	・少年院や児童養護施設を退院(所)した子どもの就労支援 ・委員として策定に関与した「三重県社会的養育推進計画(I期)」の課題整理 ・協力雇用主を対象とした生活史調査
金戸 憲子	助教	保育、幼児教育	日本国内のキリスト教主義保育施設における「日本の伝統行事」の受容と展開に関する研究。		

令和8年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
		信川 喬彦	助教	数学/解析学/複素領域における差分方程式と特殊関数・可積分系	特殊関数は数学の諸分野に現れ、物理学・工学などにも応用される重要な関数である。この特殊関数を差分方程式の視点から理解することが研究課題である。主に、可積分系や数理物理学といった分野に関連する関数や方程式を扱う。
		加藤 茂外次	特命教授	絵画	油彩および版画の表現方法と技法
		大野 照文	特命教授	理科学習の動機付け：論理的思考を助ける情動	子どもだけでなく、理科離れが叫ばれるなかで、理科学習への効果的かつ能動的動機付けを計ることが大きな課題となっている。申請者は、小学生から高齢者まで、また理科教員を対象として、参加者同士の対話を重視した理科学習ワークショップを開催している。そこで得られる知見を用いて、理科への能動的動機付けの方略を探る。
		松尾 大輔	助教	道徳教育学	道徳科における教材論に基づく授業モデルの構築と価値理解の深化に関する実証的研究
現代日本社会学部	現代日本社会学科	鶴沼 憲晴	教授	社会福祉 司法福祉 更生 再犯防止	地域生活定着支援センターにおける実態と今後の課題
		岸川 政之	特命教授	SB(ソーシャルビジネス)について	地域の課題などをビジネスの手法で解決していくSBをテーマに、皇學館大学をメイン会場に開催される「全国高校生SBP交流フェア」において、全国の高中生や関係団体の取組を研究し、地域課題の解決方法のヒントを探る。また、学んだSBの手法をどうすれば地域課題の解決に結び付けられるかについて伊勢志摩地域を舞台に考える。この取組は、社会臨床実習の受講生および有志(皇學館大学SBP研究部会など)を中心に進めていく。
		関根 薫	教授	老年社会学	①社会福祉協議会における後見支援員へのサポート内容とその効果に関する研究 ②サクセスフル・エイジングに関する基礎的研究 ③老人クラブと老人福祉センターの役割と今後の在り方に関する研究
		千田 良仁	特命教授	農林水産業経済学、地域活性化論、地域イノベーション論、観光学	・農林水産業経済学、経営学視点からの実証的、計量経済学的研究 ・地域の活性化および地域イノベーションに関する実証的研究 ・持続可能な観光地経営に関する実証的研究 ・地域食文化研究
		筒井 琢磨	教授	地域社会学	地域社会における住民活動団体の現状と課題に関する研究
		中野 一茂	教授	ミリタリーソーシャルワーク	ミリタリーソーシャルワーク ソーシャルワークにおける生成AIの活用
		藤井 恭子	教授	地域社会学、教育社会学	①若者による地域活動とソーシャルビジネスに関する研究 ②公民館の役割に関する研究
		今井 啓介	特命准教授	地域スポーツ	夏場の観光地における暑熱対策の意識調査と暑熱対策品の需要 キーワード：観光地、観光客、遮熱対策、日傘、イベントテント 昨今著しく変化する日本国の気象環境と向き合う
		瓜田 理子	准教授	民族音楽学(文化人類学・民俗学関連/神道儀礼音楽・神楽秘曲)	科研の研究課題番号23K12349「神楽秘曲の継承原理とレジリエンスについての基礎的研究」
		榎本 悠孝	准教授	障害者福祉 精神保健福祉	精神障害者の地域包括ケアシステム構築に関する研究—住居支援に焦点を当てて福祉相談支援におけるAI活用とその倫理的課題
		大井 智香子	准教授	地域福祉(社会資源開発・資源調整)、ソーシャルワーク、生成AI	生成AIを活用した福祉相談支援システムの構築可能性に関する研究—多重課題を有するケースデータ管理と実装モデルの検討—/本研究は、地域住民からの福祉相談に対応する現場を想定し、生成AIを活用した相談支援システムの構築可能性を検討するものである。多重課題ケースのデータ管理手法、倫理的配慮、地域実装の枠組みを明らかにする。

令和8年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
		土谷 長子	特命准教授	児童・乳幼児福祉 家族福祉 ソーシャルワーク	生涯発達に伴うライフイベントにおけるソーシャルワーク実践
		村上 政俊	准教授	国際政治、米中関係、日本の外交安全保障、インド太平洋	トランプ大統領と習近平国家主席の相互訪問が予定されている令和8年は、米中関係の動向を一層注視しながら、我が国の外交安全保障戦略を組み立てる必要がある。中国の力による一方的な現状変更の試み、ロシアのウクライナ侵略、北朝鮮の拉致核ミサイル問題によって劇的に悪化している安全保障環境について、考察をさらに深化させて、政策的含意のある研究を進めたい。
		津田 翔太郎	助教	ADHD当事者の「私らしさ」の構成過程：身体概念に着目して(3か年計画)	本研究は、ADHD当事者の「私らしさ(アイデンティティ)」の構成過程を、身体論的観点から解明することを目的とする。「多動力」言説が当事者の生きづらさを不可視化させている現状に対し、現象学的・社会学的身体論を統合した独自の理論枠組みを構築する。この理論に基づき、当事者へのインタビュー調査を実施することで、語り難い身体感覚や社会構造との葛藤を記述し、自己物語論の観点から分析を行う。3年間を通じ、当事者の実態に即したアイデンティティ変容のプロセスを明らかにする。
教育開発センター		池山 敦	准教授	地域コミュニティ、コミュニティ政策、地域自治	①脆弱性とレジリエンスを複眼的に捉える多角的集落診断手法の構築と住民主体への転換 ②自治体における遊休公共施設の利活用に関する住民参加の対話プロセス ③自治体におけるまちづくり人材育成に関する社会教育システム ④行政区長制度に関する歴史の変遷に関する研究
		濱畑 静香	准教授	日本語学・日本語教育学	・日本語学習者の口頭運用能力向上に関する研究 ・EPA(経済連携協定)に基づく外国人看護師候補者の日本語運用に関する諸問題の研究 ・三重県内の地域日本語教育や日本語教室における諸問題
研究開発推進センター		荊木 美行	特命教授	日本古代史	記紀・風土記・『新撰姓氏録』を中心とした日本古代史の研究。
		浦野 綾子	准教授	近世文学	長野義言および国学者の研究
		佐野 真人	准教授	日本古代史・神道史	①日本古代における朝廷祭祀・儀礼の研究 ②『延暦儀式帳』の注釈的研究
		塩川 哲朗	准教授	皇室祭祀・神宮祭祀、古代・中世神道史	古代の宮中で齋行されてきた大嘗祭・新嘗祭をはじめとする天皇祭祀と、朝廷が行っていた国家祭祀の構造と変遷を明らかにする。古代から続く伊勢神宮の祭祀の構造と変遷も明らかにすることで、宮中と神宮の関係性を考察する。朝廷と伊勢の関係性を軸としながら、古代・中世の神祇信仰の歴史を研究する。
		小林 郁	准教授	日本中世史	中近世における神宮御師の研究